

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年 12月 22日

事業所名 ホッグ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースを確保しております	障がい特性により多動児の場合、周囲に配慮が必要な場合があります
	2	職員の配置数は適切である	○		児童の特性に応じて配置しています	障がい特性や、イベントなど行事内容により配置を増やすことをしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	タイルなどを用いて段差を軽減しています	静養室や玄関部分に一部段差があります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		必要に応じてレイアウトを変え、消毒についても徹底しています	今後も備品等の入れ替えなどを行いより良い環境整備をしております
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		児童により手順書等を用いて各職員が参画するようにしています	新しい知識やアイデアをさらに取り入れていくよう努めます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施しており共有しています	様々なニーズを把握は今後も注力してまいります
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて掲載しています	周知についてさらに努めてまいります
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者評価を導入していません	今後も引き続き検討してまいります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		様々な外部研修を取り入れています	研修後の社内共有により工夫してまいります
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にかつ細かくアセスメントを取るようにしています	かなり注力し実施できていると思います
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールに修正が必要かどうかを常に考えています	様々な職員が様々な視点でアセスメントを取るよう今後もしてまいります
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを意識し支援するようにしています	障がい特性や児童により5領域をバランスよく支援することが難しい場合があります、今後も意識し支援してまいります
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画の目標を中心に支援を行っています	支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後も努めます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		様々な職員が様々な視点で立案するようにしています	より効果的なプログラムを立案できるようにしてまいります
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の心身の状況を見ながら工夫しています	より様々な障害特性に合ったプログラムになるよう心掛けてまいります
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童の特性に合わせて作成しています	集団活動が難しい際の合理的な配慮を今後も続けてまいります	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		随時共有できるようにしています	共有事項や気づいた点を確認するようにしています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々共有できていると思います	時間が長い場合があり限られた時間の中で共有するように改善してまいります
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童個々の気づいた点を日々記録するようにしています	記録はとれているが支援の検証。改善度合いをより高めてまいります
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し見直しをしています	より最適な計画を模索してまいります
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童ごとの担当職員も同席するようにしています	今後も引き続き務めてまいります
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携しています	今後も引き続き務めてまいります
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	対象児童の在籍がありません	看護師が常駐していますが、対象の児童の在籍がありません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	対象児童の在籍がありません	看護師が常駐していますが、対象の児童の在籍がありません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携しています	今後も引き続き務めてまいります
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携しています	今後も引き続き務めてまいります
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		積極的に研修参加をしています	研修については内容により選択し積極的に参加できるよう努めています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在はともに活動する機会がありません	インクルーシブの観点から児童とともに高齢者施設への定期的な訪問する機会を設けております
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の連絡会に参加しています	今後も引き続き務めてまいります
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の活動について課題を含めて伝えるようにしています	家庭や学校での様子などをより把握できるように努めます
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ご相談により他機関連携をしながら助言するようにしています	関係機関によって連携未経験な機関もあり、連携を広めるように努める必要があると感じています	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		丁寧な説明を心がけています	今後も引き続き務めてまいります	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインを意識し作成した支援計画とし同意を得るようにしております	障がい特性や児童により5領域をバランスよく支援することが難しい場合があり、今後も意識し支援してまいります	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時ご相談に応じて助言するようにしております	ご相談内容により経験や知識不足がある場合もあり、関係機関との連携などより強化していく課題とします
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在父母の会等を実施はしておりません、連携については配慮しています	現在は保護者会等は設けていません。今後の課題といたします
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応するよう心掛けています	今後も引き続き務めてまいります
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月イベント予定等のお知らせを発行しています	イベント等だけでなく様々な情報の提供を検討してまいります
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に注意し取り扱っております	今後も引き続き務めてまいります
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者様に応じて様々なツールを使用しています	児童の特性にあったツールを今後も模索してまいります
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	事業所への招待等は行っておりません	インクルーシブの観点から地域の高齢者施設への定期的な訪問を行っており継続していきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを整備し訓練を実施しています	周知においての不足が課題であり改善に努めてまいります
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な有事を想定し訓練実施しています	今後もより様々な有事を想定してまいります
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に既往歴をはじめてんかん等についても確認しております	今後も引き続き務めてまいります
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事時などに注意しております	今後も引き続き務めてまいります
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記載し共有できるよう努めています	記載内容から理解度に職員により改善必要な点もあり改善してまいります
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修への参加や勉強会をおこなっています	キャリアの浅い職員や理解度についてより改善してまいります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		対象となりうる場合は支援計画に入れ、かつ保護者への説明を行っています	今後も記載内容を分かりやすくしてまいります

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。